## 令和7年度(2025年度) 今治北高校大三島分校 シラバス

教科	公民	科目	政治・経済	学年	第3学年	類型	I
単位数	2 単位	教科書	高等学校 政治・総	高等学校 政治・経済 (第一学習社)			
補助 教材							

社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、広い視野に立って、現代社会の諸課題を追求したり、解決に向けて構想したりする活動を通して以下の資質能力の育成を目指す。
1 諸資料から社会のあり方にかかわる情報を効果的に調べまとめる能力。
2 国家及び社会の形成者として、議論し、公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力。
3 国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする姿勢。

学期	月	単元	学習内容・単元の目標	定期 考査
1	4月 5月	第1編 現代日本の政治・経済 の諸課題 第1章 現代日本の政治・経済 1節 日本国憲法と現代政治の あり方	・法の支配や立憲主義の意味や意義について学び、基本的人権の確立 および人権保障のための過程について理解する。 ・民主政治のあり方や国会、内閣の関係について理解する。 ・司法権の独立と日本の裁判制度について理解し、日本国憲法と現代 政治のあり方について、より良い社会の実現を視野に考察し、諸課題 を解決しようとする姿勢を身に付ける。	中間考査
学期	6月	2節 望ましい政治のあり方と 主権者としての政治参加	・地方自治についての学習を通し、望ましい政治および主権者として の政治参加のあり方について、自己の考えを醸成する。	期末考査
	7月	3節 市場経済の機能と限界	・経済の役割と資本主義などの経済体制、市場経済のしくみについて理解する。 ・公害や消費者問題など市場の失敗について理解し、「市場の機能と限界」について、多面的・多角的に考察・構想・表現する。	
	8月	4節 持続可能な財政および租 税のあり方	・財政の機能としくみについて、理解していく中で、持続可能な租税 のあり方に向けた考察を深める。	
	9月	5節 金融を通した経済活動の 活性化	・金融のはたらきと金融機関の役割について、理解する。	
		6節 経済活動と福祉の向上	・日本の中小企業や農業経営者、労働問題、社会保障制度などの課題 について理解し、多面的・多角的に考察し、表現する。	
	10月	第2章 現代日本の諸課題の探求	・社会的な見方・考え方を働かせ、他者と共同して現代社会の諸課題を探求する活動を通して、より良い社会のあり方についての自分の考えを説明、論述する。	中間考査
2 学 期	11月	第2編 グローバル化する国際 社会の課題 第1章 現代の国際政治・経済 1節 国際法の果たす役割	・21世紀以降の国際社会の変遷について理解する。 ・国際法の種類や特徴に加え、国際裁判のしくみを理解する。 ・国際連合の機能と主要機関の役割について理解を深め、国際連合の 課題を多面的・多角的に考察し、表現する。 ・国際紛争の原因および核廃絶のための施策について理解する。	
		2節 国際平和と人類の福祉に 寄与する日本の役割	・平和主義の理念と自衛隊や日米安全保障協力といった日本の防衛政 策について、理解する。	
	12月	3節 相互依存関係が深まる国際経済の特質	・比較優位の考えや国際分業の利点についての学習を通し、日本の貿易の現状の動向や国際収支統計の構成について理解を深める。 ・為替相場の推移や、地域的経済統合を理解し、地球的な規模での協調が求められている現状と問題点について考えを深める。	期末考査
		4節 国際経済において求められる日本の役割	・国際経済における日本の地位と経済安定、成長のために求められる 日本の役割について理解する。	
	1月	第2章 国際社会の諸課題の探 求	・社会的な見方・考え方を働かせ、他者と共同して国際社会の諸課題 を探求する活動を通して、より良い国際社会のあり方についての自分 の考えを説明、論述する。	学年末考査
3 学	2月			
期	3月			

学 授業で学ぶ内容についてしっかりと取り組み、自ら考えたり判断したりしながら、自らの言葉を使って学 習内容を整理してまとめましょう。学習に際して、学習内容を自分の文章で要約したり、要点を整理したり することも大切です。また、普段から時事ニュースに関心を持ち、社会で起こるさまざまな出来事について 自らの問題として考えていく習慣を身に付けましょう。

評価の観点	① 知識・技能 社会的事象および、現代社会の 諸問題の概念や理論などについて 理解するとともに、諸資料から、 社会のあり方に関する情報を適切 かつ効果的に調べまとめられてい る。	② 思考・判断・表現 国家及び社会の形成者として、政治・経済の概念や理論を活用して、現実社会の課題を把握し、説明するとともに、身に着けた知識や判断基準をを根拠に、議論し公正に判断している。	③ 主体的に取り組む態度 よりより社会の実現を視野に、国家 及び社会の担い手として、現代の諸課 題を主体的に解決しようとしている。		
評価方法	・授業態度やノート、授業プリント、確認問題集等の活用状況を点検し評価します。 ・資料をもとに、思考・判断する能力を小テストや定期考査の問題等で評価します。				